

JA全農 とくしま情報

地域の話題や活動のご報告
今後のお知らせなど
JA全農とくしまと、あなたをつなぐ
コミュニケーション情報誌

2024
2月号
No.772



「みどりみりのマルシェ『中四国の実り』」参加者

マンスリーレポート 2

- ・第41回徳島県花き展示品評会
- ・令和6年子牛初セリ市
- ・ブライダル業界と連携し消費拡大
- ・JR大阪駅で「みどりみりのマルシェ『中四国の実り』」
- ・ケーブルテレビで「デコ巻きずし」の取り組みを紹介
- ・徳島県青伸会「生産流通情報交換会」
- ・栄養士・調理師に向けてデコ巻きずし研修会

旬の野菜でおうちごはん 6

- ・鶏とキャベツのバタポン酢焼き

浜ちゃん・ちっちゃんのうまいモノ絵日記 7

- ・その㊦ ～年度末はせわしい～

交通安全のお知らせ 7

- ・横断歩道における歩行者優先について

トピックス 8

- ・営農コラム

マンスリーレポート

～JA阿波みよしの黄金ヒバが農林水産大臣賞～

第41回徳島県花き展示品評会

1月27日～28日の2日間、徳島市の文化の森総合公園の徳島県立21世紀館で、とくしまの花振興協会主催による「第41回徳島県花き展示品評会」(徳島県、JA徳島中央会、JA全農ととくしまなど共催)が開催されました。

徳島県の花きは京阪神市場を中心に出荷されており、特に洋ラン<切花>出荷量は全国でもトップクラスです。この品評会は、徳島県の花き生産技術向上と消費者PRを目的に、花き関係者の相互協力のもと開催し、今回で41回目となります。

会場となったイベントホールには、県内の花き生産者や団体からシンビジウムなどの切花104点、枝葉物17点、鉢物13点の計134点が出品され、色沢・形状・揃い・市場経済性などが審査されました。

厳正な審査の結果、黄金の発色が良く枝先まで美しく伸びた枝、茎の太さや株のしまりなどが高く評価された、森川雄介氏(JA阿波みよし)出品の「黄金ヒバ」が最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。

また、三橋徹氏(徳島県洋ラン生産組合)出品の「シンビジウム・ピュアガール」が全国農業協同組合連合会徳島県本部県本部長賞を受賞しました。

上位4賞の受賞者は次の方々です。(敬称略)

◇農林水産大臣賞

森川 雄介(JA阿波みよし)・黄金ヒバ

◇農産局長賞

長尾 賢治(徳島県洋ラン生産組合)
・シンビジウム・リッチドル

◇中国四国農政局長賞

立石 泰子(JAアグリあなん(相生))・オモト・都の城

◇徳島県知事賞

近藤 昭文(JA徳島市花卉部会)・シンビジウム・タルト
松崎 博明(胡蝶蘭部会)・コチョウラン鉢物・N66



上位4賞の受賞作品



農林水産大臣賞を受賞する森川雄介氏(右)



出席された受賞者



出品花きを審査する審査員



審査にあたりあいさつを行う村上哲副本部長



全国農業協同組合連合会
徳島県本部長賞受賞作品

～出荷頭数67頭、平均393,307円～

令和6年子牛初セリ市

1月5日、当県本部は板野郡上板町の上板畜産センターで「令和6年子牛初セリ市」を開催しました。

初せりに先立ち、宮田卓次副本部長は「本年も家畜の公正な取引と適正な価格形成を確保する県内唯一の家畜市場として、畜産業の発展に寄与すべく努力いたします」と年頭のあいさつをおこないました。続いて、牛乳の消費拡大と畜産業の振興を祈念し、出席者全員で牛乳での乾杯をおこないました。

そして、せり親の威勢のよい掛け声を合図に初せりがスタートし、県内および兵庫県の畜産農家で育てられた、生後6～10ヶ月の子牛67頭がせりにかけられました。出荷された子牛は、県内をはじめ香川県、兵庫県、福井県から集まった購買者によって次々とせり落とされ、この日の最高価格は444,400円(税込)、子牛1頭あたりの平均価格は393,307円(税込)、価格推移の指標となる交雑種去勢の平均価格は410,850円(税込)となりました。

またこの日、初せり当日の1頭目、交雑種雌の最高価格、交雑種去勢の最高価格の子牛をせり落とした方々にそれぞれ記念品が贈呈されました。

当県本部では、本年も牛セリ市場の維持・活性化に努めてまいります。



年頭のあいさつを行う宮田卓司副本部長



威勢のよい掛け声とともに開幕した子牛の初せり

～徳島県産シンビジウムでファッションショーを華やかに～

ブライダル業界と連携し消費拡大

1月21日、徳島県洋ラン生産組合(事務局＝当県本部)は、徳島市の結婚式場「リヴァージュテラス ブランアンジュ」で開催された「チャペルドレスショー」に、シンビジウム切花を提供しました。

この取り組みは、ブライダル業界と連携し様々なイベントでシンビジウムを使っていただき、その魅力を発信し、消費拡大をはかることを目的としています。

およそ950本のシンビジウムと徳島県産花材でコーディネートされたバージンロードでのドレスショーはとても華やかで、来場者約40人の目を引き付けました。

また、当日アンケートにお答えいただいた先着50人には当組合が用意しためずらしい藍色の染シンビジウムがプレゼントされました。



シンビジウムの飾りつけが華やかなファッションショー



豪華に飾りつけられたシンビジウム

マンスリーレポート

～JA全農×JR西日本で地域振興支援プロジェクト～

JR大阪駅で「みのりみのるマルシェ『中四国の実り』」

1月20日、JA全農はJR大阪駅「アトリウム広場」で「みのりみのるマルシェ『中四国の実り』」を開催しました。

JA全農とJR西日本は、平成27年度に締結した「地域振興支援に関する連携協定書」にもとづき、マルシェの実施に取り組んおり、今回のマルシェでは、中四国5県（鳥取・岡山・広島・徳島・愛媛）から各県の旬の果物や野菜を取り揃え、販売をおこないました。徳島県のブースでは園芸総合対策課の祖川昌也職員と企画管理課の榎本昌保職員が「なると金時」や「すだち」、「いちご（さちのか）」、「すだち加工品」などのおいしさをPRしながら販売しました。

ブースに立ち寄ったお客様は「なると金時は甘くておいしいので家族でファンです。ここで購入できてよかったです」と喜んでいました。気温が低く寒い1日でしたが、各ブースとも全ての商品が売り切れて大変好評でした。

また、会場ではJA全農が運営する産地直送通販「JAタウン」の商品をPRするYouTube「ゆるふわたいむ」の収録もおこなわれ、MCを務めている人気タレントの雪平莉左さんが各県の担当者におすすめの商品についてインタビューしたり、クイズで獲得したお小遣いで購入した商品を紹介したりしました。このYouTubeは1月26日に配信を開始していますので、ぜひご視聴ください。



YouTube
「ゆるふわたいむ」



「みのりみのるマルシェ『中四国の実り』」参加者



職員がなると金時やすだちなどを販売する
徳島県ブースの様子

～食育活動や県産農産物・加工品をPR～

ケーブルテレビで「デコ巻きずし」の取り組みを紹介

1月19日、徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校の6次産業化研究施設で、徳島県石井町のケーブルテレビオリジナル番組「小林町長のまちを歩けば」の収録がおこなわれ、当県本部の食育活動や県産農産物・加工品を紹介しました。

番組では、企画管理課の仁木智美専任課長（デコ巻きずしマイスター）と、同町の小林智仁町長、同ケーブルテレビの荒井敬子アナウンサーに当県本部が食育活動として取り組んでいる「デコ巻き寿司」作りを指導しました。

小林町長には、JA全農とくしまのロゴ入りエプロンを着用していただきました。今回は、季節行事である「ひな祭り」にちなんだ絵柄のデコ巻き寿司を作りました。材料には、石井町とJA名西郡が「藤やさい」と名付けて生産振興に力を入れている紫色のカリフラワーや徳島県産米「あきかり」、そしてすだち果汁を使用するなど、郷土の農産物や加工品を調理しながらそれぞれの特長や美味しさをアピールしました。

調理終了後は、すだち飲料「ザすだち」で乾杯し、デコ巻きずしを試食しながら当県本部の食育活動やSNSの取り組みについて紹介しました。

この日の収録は2月23日、24日に放映予定で、JA全農とくしまYoutubeチャンネルでも配信予定ですので、ぜひご視聴ください。



「ひな祭り」にちなんだ絵柄のデコ巻き寿司



「デコ巻き寿司」作りを指導する
企画管理課の仁木智美専任課長（中央）



完成しました♪

～徳島県産農産物への理解向上をめざして～

徳島県青伸会「生産流通情報交換会」

1月22日～23日の2日間、徳島県青伸会による産地研修がおこなわれました。

青伸会は徳島県青果物のブランド化・有利販売を目的として、京阪神の主要卸売会社17社で構成されており、今回の研修には青伸会の各品目専門部会の副会長など、卸売会社の中心を担う社員9人が参加しました。

1日目は、徳島市内のホテルサンシャインで、徳島営農指導員連絡協議会との合同による物流をテーマにした生産流通情報交換会を開催しました。

会議では2024年4月を目前にひかえ「物流の2024年問題」をテーマとして、①各地から卸売市場への物流について②物流に関する県内での取り組みについて③卸売市場における取り組み事例の紹介④地域における集荷について参加者からの発表やグループディスカッションでの情報共有がおこなわれました。

2日目は、当県本部会議室で、徳島県産青果物の生産・販売状況に関する意見交換をおこなった後、日本青果包装株式会社に移動し、小笠佳彦同社取締役より説明を受けながら青果物包装資材工場を視察しました。

最後はメンバー一同、JA東とくしま「みはらしの丘あいさい広場」で施設見学をおこないました。

当県本部は、今後もこのような機会を通じて、卸売会社の方々に徳島県産農産物への理解を一層深めていただき、販売拡大につなげてまいります。



あいさつを行う村上哲副本部長



青果物包装資材工場を視察

～地産地消で行事食を華やかに～

栄養士・調理師に向けてデコ巻きずし研修会

1月31日、徳島県西部防災館調理室（美馬市）で、三好集団給食施設協議会主催の「調理師研修会」が開催されました。

研修会では、当県本部企画管理課の仁木智美専任課長（デコ巻きずしマイスター）が保育所、医療機関などの調理師や調理員、管理栄養士ら出席者14人に対し当県本部の食育の取り組みや生産者の現状を伝え「県産・国産」を守るため、少しでも多くの県産・国産農畜産物を給食や自宅で使用していただくよう依頼しました。

今回の研修会は、地元食材を使用した季節のデコ巻きずし「小梅」と「おひな様」の調理を体験していただきましたが、参加者全員日々調理業務に従事していることもあり、慣れた手つきでスムーズに作り終えました。参加者は「とても楽しい食育活動だと感心した」「可愛い絵柄なので子どもたちだけでなく高齢者も喜びそう」などの感想が聞かれました。

当県本部では今後も、徳島県産農産物の魅力やおいしさを伝え、食への意識を高め健康増進に繋げる楽しい食育活動の支援をおこなってまいります。



研修会参加のみなさん



食育の取り組みなどを説明する企画管理課の仁木智美専任課長



地元食材を使用した季節のデコ巻きずしの調理を行う参加者

料理研究家HITOMI先生が薦める、簡単スピーディー、そして楽しんで作れるレシピをご紹介します!



鶏とキャベツのバターポン酢焼き



▼材料(2人分)

- 鶏もも肉……………1枚
- キャベツ……………1/2玉
- 大根……………3cm
- レモン……………1/2個
- バター……………大1~2
- ポン酢、塩、こしょう……………各適量

▼作り方



- ① 鶏肉は厚みを均一にして、一口大に切る。
- ② キャベツは芯の部分を除き、大きめの色紙切りにする。
- ③ フライパンにクッキングシートを敷き、①と②を並べる。
- ④ 全体に上から塩、こしょうをし、バターをのせて焼き、大根おろしとレモンを添え、ポン酢をかける。

POINT

焦げやすいのでクッキングシートを敷くと良い。



料理研究家 HITOMI <https://hitomi-cook.com/>

◎免許:調理師免許、食空間テーブルコーディネーター2級、JA全農とくしま園芸部 クッキングアドバイザー
◎賞:2014年NHK社会貢献賞授与 ◎活動歴:TV=NHK徳島放送局料理コーナーレギュラー出演/ラジオ=TBS「伊集院光とラジオと」に毎月レシピ提供 ◎JA全農とくしまとのコラボイベント:大阪ガスハグミュージアムにて鰻を使った爽やか料理講習会/大阪中央卸市場にて徳島県の食材を使った料理講習会 ◎カルチャー講師:兵庫イオンカルチャー(姫路、加古川、明石の3店舗)講師/神戸市立長田区勤労センター、神戸市立西区民センター講師 ◎店舗用レシピ開発、商工会での商品開発など



その165 ～年度末はせわしい～

◆居ぬ。逃げる。去る。◆

1月は(いぬ) 2月は(にげる) 3月は(さる)と教えていただいたが、年度末はせわしい中で、あっという間に時が過ぎ去っていく。

◆大谷翔平◆

大谷翔平が、メジャーリーグのロサンゼルス・ドジャースに移籍が決まった。10年くらい前には、マリナーズのイチローとニューヨークヤンキースの松井の対戦があるかもしれないと、アメリカの西海岸のエンジェルス球場へ試合を観戦に行ったが、この時は、松井に会うことはできなかったが、試合ではイチローのレーザービームを見ることが出来て、満足した記憶がよみがえる。

◆徳島のネギ◆

徳島のネギの主な産地は、JA徳島市、JA麻植郡、JA板野郡などであるが、徳島市の渭東地区(いとう)の産地にみられるように、徳島産は青葉ネギが一般的である。白ネギや玉ネギよりも、青葉ネギが有名である。英語では、すべてオニオンであるが、徳島でネギといえば、青葉ネギになる。その他は、白ネギとか玉ネギなどネギの前にわざわざ白や玉などの形容詞をつけて区別している。

徳島市の葉ネギが県を代表する産地になったのは、水田転作とも重なり、先人達の知恵と努力のたまものであるが、経営環境都市型農業と青ねぎ単一栽培によって安定的な農業経営をおこない、土地の高度利用を図ることで周年栽培の道を開き、徳島県を代表する一大産地を形成したのである。

◆コラムは料理の添え物の青葉ネギのツマのような存在◆

寒さに耐えた葉ネギは甘くてうまい。葉ネギのツマを添えることで料理も華やかさや高級感がグッと増す。コラムは、葉ネギのツマのような存在だったと思う。裏方としてコラム作りに関わって下さった方々に感謝申し上げます。次回3月号の最終回までは続きますので、引き続き応援をお願いします。

口の中に広がる旨味と香り
徳島のねぎ



交通安全のお知らせ

横断歩道における歩行者優先について

令和5年中、歩行中に交通事故で亡くなった方は15人(前年比+9人)で、そのうち11人の方が道路を横断中に被害にあっています。歩行者事故の多くは、歩行者が道路を横断中に発生しています。ドライバーは、周囲の状況をよく確認して安全な速度で運転してください。

⚠️ これはマナーではなく、ルールです

横断歩道に接近する場合

車は、横断歩道に接近する場合は、その横断歩道の直前(停止線の直前)で停止できるような速度で進行しなければなりません。

横断歩行者がいる場合の一時停止

車は、進路の前方の横断歩道を横断し、または横断しようとする歩行者がいるときは、その横断歩道の直前で一時停止し、歩行者の通行を妨げないようにしなければなりません。

側方通過前の一時停止

車は、横断歩道またはその手前の直前で停止している車がある場合、停止している車の側方を通過して前方に出ようとするときは、前方に出る前に一時停止しなければなりません。

横断歩道手前での追い抜き禁止

車は、横断歩道およびその手前の側端から30メートル以内では、前方を進行している他の車の側方を通過して前に出てはいけません。

違反点数2点

反則金 大型：12000円 普通：9000円
二輪：7000円 原付：6000円

歩行者の方へ

道路を横断する際、近くに横断歩道がある場合は、必ず横断歩道を渡りましょう。道路の斜め横断は危険です! 昨年、横断中に亡くなった11人のうち、横断歩道を渡っていたのはわずか4人でした。

また、歩行者が最優先される横断歩道ですが、危険な運転をする車もいます。自身を守るためにも、横断する前や横断中も左右の安全確認を行ってください。

徳島県警察本部 交通企画課



春の季節、美しくみごとな桜(ソメイヨシノ)が咲き始めると、桜の名所では大勢の花見客で賑わうようになります。枝いっぱい薄いピンクの花をたわわに咲かせた姿は優美で華やかで、日本人の心を魅了するものとなっています。

ソメイヨシノは江戸時代の後期に、江戸の染井村(現東京都豊島区)の植木職人がエドヒガンとオオシマザクラを掛け合わせたものをその当時の桜のブランド「吉野」(奈良の吉野山の山桜で有名)にちなんで「吉野桜」として売り出したのが始まりです。日本人に古くから親しまれていた山桜に比べるとまだ200年足らずの新しい桜です。

このソメイヨシノを全国的に広めたのは明治政府であるといわれます。明治政府は、徳川時代以前から続く古い体制を排除し新しい体制を作ることに関心し、桜の分野でも旧体制がヤマザクラ主体であったところを新しい桜ソメイヨシノに植え替えることを進めました。ソメイヨシノは成長が早く、早くから花を多数つけるため、奨励されたたものと思われる。

ソメイヨシノは、環境条件がよければ樹齢50年で高さ15m、枝張り20mを超えるくらいになります。このように大きくなる樹であることを考慮せず植えたため、様々な問題が生じています。

樹幅10m程度に植えたため、樹が大きくなると密植状態になり、上部で交差した枝により日照不足となり枯れ始め樹勢が衰えてきます。そうすると、幹や枝の腐朽が進み、一挙に衰退が始まります。また、長く伸びた大枝をバッサリと大きく切り落としたため、切り口から腐敗、腐朽が進み、外観的にもいびつな形になっています。十分な樹間距離をとらず、無理な剪定を繰り返した結果、樹勢の衰退や美観を損なう事態となっているのです。

ソメイヨシノの寿命はおそらくは100年を越えると思われていますが、人間の都合による不本意な管理によって60年も持たない状況になっています。適切な間隔に植え、植えばなしにせず適切に管理することによって、伸び伸びと育った美しい樹姿のソメイヨシノを長年月維持していくことが可能となります。



園芸総合対策課

～新春の阿波路を駆ける～

第70回徳島駅伝で 県本部職員が力走!

1月4日～5日、徳島県内で開催された「第70回徳島駅伝」に当県本部園芸部園芸総合対策課の祖川昌也職員が出身地の海部郡代表として参加し、新春の阿波路を力走しました。

徳島駅伝は昭和30年(1955年)から続く伝統の駅伝競走で、今大会は県下16郡市の代表選手が参加し、たすきを繋いで2日間で全23区間116.5kmを駆け抜けました。

祖川職員は学生時代から数えて今年で16回目の参加となり、第1日目の第5区(7.6km)を走り切り、海部郡チームは12位の成績となりました。



沿道の応援を受け阿波路を駆ける職員



力走する園芸総合対策課の祖川昌也職員

～営農ハウスでイチゴの作業体験～

徳大生が農業研修

1月20日、当県本部営農支援課は、本会のイチゴ実証ハウス(徳島市多家良町)で、徳島大学の生物資源産業学部中澤慶久教授と学生(2・3年生)37人参加のもと、同大学の講義(アグリビジネス起業論)の一環として農業研修を実施しました。

研修にあたり、営農支援課の大塚雅信課長から、当施設でおこなっている実証プロジェクトの目的や施設の概要、イチゴの栽培・出荷・販売体制などに関する説明と同課の浦屋翔太職員から、栽培管理方法や栽培品種などについて説明がおこなわれました。

続いて、学生らは実技研修として、浦屋職員指導のもと収穫を終えた不要枝の剪定作業やイチゴの収穫・パック詰め作業を体験し、実技を通じて国産農畜産物に対する理解を深めてもらいました。

当県本部では、今後も実証ハウスを活用した食農教育や県産農産物の販売PRへの取り組みを継続しておこなって参ります。



営農支援課大塚雅信課長がプロジェクトの目的などを説明



営農支援課浦屋翔太職員が栽培管理方法や栽培品種などを説明



収穫やパック詰め作業を体験!



たくさん剪定できました!



不要枝の剪定作業をする学生

2025年新卒採用エントリーを開始します

JA全農は、令和6年3月1日(金)より、2025年新卒採用のエントリーを開始します。3月29日(金)まで、以下のアドレスにて受付します。



<JA全農・新卒採用情報ページ>

<http://zennoh-recruit.jp/index.html>

<就活イベント>

○マイナビ「就職セミナー・合同会社説明会(徳島会場)」

日 時: 令和6年3月5日(火) 13時～17時

会 場: アスティとくしま(徳島市山城町東浜傍示1番地1)

○全農企業説明会(Web)

日 時: 令和6年3月6日(水)～3月26日(火) 9時30分～17時30分

3月よりJA全農新卒採用情報ページより申し込みできます。



全農グループの事業紹介動画が完成(JA全農ウィークリー1月15日号から転載)

全農グループの 事業紹介動画が完成

多岐にわたる事業への理解を深めていただくために

全農は、新規取引先などに向けて全農グループの取り組む各種事業について広く周知し、理解を深めていただくことを目的に全農グループの事業紹介動画を作成しました。また、動画作成にあたり、全国各地のJAなどにご協力をいただきました。

【広報・調査部】



動画冒頭メインメッセージ

全農の歴史



事業部門を6つに
分類し紹介

全国各地で活躍する
全農グループ従業員



動画の長さは8分20秒程度で、全農の歴史と果たす役割、経営理念である「全農グループは生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になる」を実現するための主な取り組みについて紹介をしています。全農グループの多岐にわたる事業を米穀農産事業、園芸事業、耕種生産事業、畜産・酪農事業、生活関連事業、リテール事業の6つの事業部門に分け、特徴的な取り組みや今後の展望について印象的な映像とともに伝えています。

これからも日本の農業を支えていくために、各事業部では日々変化する情勢や生産現場の課題解決に向けた新たな取り組みを進めており、動画で取り上げる内容に

についても中期事業計画ごとに更新をしていく予定です。

現在、日本語のナレーション版の動画をYouTube上で公開しており、2月初旬には英語のナレーション版と中国語の字幕版も公開予定です。全農グループの商談や展示会、直営店舗など幅広い場面で活用することで、国内外を問わず多くの方に全農グループの取り組みが伝わることを期待しています。

全農は今後も各種広報活動を通じて全農グループへの理解を深めていく取り組みを進めていきます。

動画はこちら >>>



2024.1.15 vol.1060

産直市「とくしまマルシェ」出店

当県本部園芸部は、県内JAと協力し、徳島市東船場町のしんまちボードウォークにて毎月最終日曜日に開催される産直市「とくしまマルシェ」に出店しています。

当県本部の次回出店は、2月25日(日)の予定です。JA徳島市が参加し、なんと金時・イチゴ・シイタケなどを販売しますので是非おこし下さい。

お問い合わせは、園芸販売課(電話088-634-2514)まで。



<https://tokushima-marche.jp/>



JAタウン「新鮮大好き徳島」今月のおすすめ



葉わさび(販売期間:~5月下旬)



いちご「さちのか」(販売期間:~3月中旬)

JAタウン「新鮮大好き徳島」では、県内JAの協力のもと、徳島県産農産物・加工品のネット販売に取り組んでいます。

四季折々の特産品を随時掲載していますので、贈答用としてもぜひご利用ください。



JAタウン「新鮮大好き徳島」

<https://www.ja-town.com/shop/c/c7001/>

新鮮大好き徳島

検索

ガス給湯器・ガス衣類乾燥機で快適ライフ!

お気軽にお問い合わせください!
詳しくは下記番号まで



ジェイエイ徳島燃料サービス(株)
088-695-5380



ラウンドアップ史上

最高の 枯らす力!

* 出典 2007(補調)第41巻第3号別冊、過去1981~1999年に販売していたラウンドアップ、2000~2007年に販売していたラウンドアップハイロード、と比較した除草効果。

より確実に根まで枯らす
枯らす力のラウンドアップマックスロード



-  散布1時間後の
雨にも強い!
-  低温時にも強い!
-  朝露にも強い!
-  専用ULV5ノズルで
水量が1/20に!
* 通常散布100ℓ/10aと少量散布5ℓ/10aの水量比較



お問い合わせは最寄のJAへ



JAタウン
「新鮮大好き徳島」



JA全農とくしま
YouTubeチャンネル



JA全農とくしま
Instagram



JA全農とくしま
クックパッド



JA全農とくしま
ホームページ

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



JA全農とくしま

<https://www.zennoh.or.jp/tm/>



「JA全農とくしま情報」に 関するお問い合わせ先

本紙「JA全農とくしま情報」の購読料・配送料は
無料です。送付先の氏名・住所変更や、
送付の停止につきましては、
JA全農とくしま企画管理課広報室
(電話 088-634-2462)
までご連絡ください。

